

臨床研修修了者アンケートについて

1 調査目的

○臨床研修の実態を把握するとともに、医師不足の対策を講じるための基礎資料を得るため臨床研修修了者アンケートを実施

2 調査対象

○臨床研修を修了するすべての医師

*以下2学年について実施

- ・平成19年度開始研修医（平成21年3月修了）
- ・平成20年度開始研修医（平成22年3月修了）

3 調査期間

毎年3月1日～同年4月30日

4 調査内容

○卒業大学、出身地、研修病院の場所・種別、研修した診療科、修了後の勤務地・診療科等、研修内容および研修後の進路に関する質問（詳細は別紙質問票を参照）

5 実施主体

厚生労働省医政局、各地方厚生局を通じて実施

6 調査方法

- 厚生労働省より、各臨床研修病院および大学病院に対して、アンケート用紙を送付。
- 研修了者が記入して、各病院事務局を經由して各地方厚生局に提出

7 調査の結果

○調査結果の概要については公表を予定

臨床研修修了者アンケート（質問票）

このアンケート調査は、臨床研修を修了した医師の進路に対するお考えを把握し、政策に反映させるため、厚生労働省が実施する調査です。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますようお願いいたします。

※ 回答用紙のみを回収しますので、全て別紙回答欄にご記入下さい。

問1 あなたが卒業した医学部はどこですか。

（別紙：医学部の一覧をご参照の上、回答用紙に該当する学校番号をご記入下さい。）

問2 現在、あなたの実家（父母の家等）が所在する都道府県はどこですか。

（別紙：都道府県の一覧をご参照の上、回答用紙に該当する都道府県番号をご記入下さい）

問3 あなたが高校等を卒業する前までに過ごした期間が最も長い都道府県（出身地）はどこですか。

（別紙：都道府県の一覧をご参照の上、回答用紙に該当する都道府県番号をご記入下さい）

問4 あなたが卒業した高校等が所在する都道府県はどこですか。

（別紙：都道府県の一覧をご参照の上、回答用紙に該当する都道府県番号をご記入下さい）

問5 あなたが臨床研修を行った主たる病院が所在する都道府県はどこですか。

（別紙：都道府県の一覧をご参照の上、回答用紙に該当する都道府県番号をご記入下さい）

問6 あなたが臨床研修を行った主たる病院の種別はどれですか（選択肢の番号を1つお答え下さい）

01 卒業した大学の大学病院 02 卒業した大学以外の大学病院 03 臨床研修病院

問7 あなたが臨床研修を行った病院を選んだ理由についてあてはまるもの全てを選択しその番号をお答え下さい（複数回答可）。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 01 臨床研修のプログラムが充実 | 02 臨床研修の理念に賛同 |
| 03 臨床研修修了後の研修が充実 | 04 大学院博士課程のプログラムが充実 |
| 05 他病院とのネットワーク・連携が豊富 | 06 臨床研修後の進路やキャリアを考えて有利 |
| 07 臨床研修後の進路やキャリアが比較的自由 | 08 様々な病院を経験したい |
| 09 指導体制が充実 | 10 熱心な指導医が在職 |
| 11 著名な医師や高い業績のある医師がいる | 12 病院の施設・設備が充実 |
| 13 処遇・待遇（給与）が良い | 14 多くの症例を経験できる |
| 15 高度な技術や知識を習得できる | 16 プライマリ・ケアに関する能力を修得できる |
| 17 様々な診療科・部門でバランス良い経験を積める | 18 ホームページやパンフレットの情報が充実 |
| 19 伝統や実績がある | 20 優れた研修医が集まっている |
| 21 先輩等の評判が良い | 22 実家に近い |
| 23 学生時代の住居に近い | 24 大都市圏である |
| 25 交通の便がよい | 26 雑用が少ない |
| 27 出身大学だから | 28 友人や恋人、先輩が在職している（在職する予定） |
| 29 奨学金をもらっていた（もらう予定がある） | 30 特になし |

問8 あなたが経験した臨床研修を振り返って、全体としての満足度についてお答えください。

満足していない ← 1 2 3 4 5 → 大変満足している

問9 あなたが臨床研修で実際にローテートしたプログラムについてお答えください。

(別紙：診療科または基礎系の分野の一覧をご参照の上、該当する番号とその研修を行った期間及び病院の所在地(都道府県)をローテートした順番に回答用紙にご記入下さい。)

※ 研修開始前のオリエンテーションの期間は、その直後にローテートした診療科に含めてください。

※ 1ヶ月未満は小数で表してください。(例 2週間=0.5か月)

※ 記載されたすべてのプログラムの期間を合計すると、24ヶ月を超えるかどうかをご確認ください。

※ 研修を行った病院の所在地(都道府県)は、都道府県の一覧をご参照の上、回答用紙に該当する都道府県番号をご記入下さい。

問10 あなたが臨床研修を行う前の時点で、将来もっとも従事したいと考えていた診療科または基礎系の分野はどれですか(完全に一致するものがない場合は最も近いものをひとつ選択)。

(別紙：診療科または基礎系の分野の一覧をご参照の上、回答用紙に該当する番号をご記入下さい)

問11 あなたが現時点で、将来もっとも従事したい診療科または基礎系の分野はどれですか(完全に一致するものがない場合は最も近いものをひとつ選択)。

(別紙：診療科または基礎系の分野の一覧をご参照の上、回答用紙に該当する番号をご記入下さい)

問12 問10と問11の回答が異なる場合だけ回答ください。

臨床研修前に希望していた診療科または基礎系の分野が研修後に変わった理由について当てはまるもの全てを選択してください(複数回答可)。

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 01 問10の診療科よりも問11の方に魅力を感じる | 02 研修開始前には問11が未定だった |
| 03 適性・才能がない | 04 仕事の内容が想像と違った |
| 05 やりがいが見いだせない | 06 なんとなく相性が合わない |
| 07 人間関係に疲弊 | 08 体力的にきつい |
| 09 精神的にきつい | 10 患者・患者家族とのトラブルが多い |
| 11 拘束時間が長い | 12 突然呼び出されることが多い |
| 13 労働時間に比べて給与が少ない | 14 希望者が少ないため待遇改善の見込みがない |
| 15 優れた指導者がいない(または転出してしまった) | 16 研修施設・設備が充実していない |
| 17 学問的な興味を失った | 18 医学博士号や専門医資格が取りづらい |
| 19 将来的に専門性を維持しづらい | 20 希望者が多いため経験が積めない |
| 21 希望者が多いため独立・開業が困難 | 22 訴訟となるリスクが高い |
| 23 独立・開業までに時間がかかる | 24 独立・開業に多額の投資が必要 |
| 25 結婚・出産の時期が遅くなる | 26 恋人・家族の希望 |

問13 問12の回答について伺います。あなたは問12で挙げた点が改善されれば、臨床研修前に希望していた診療科または基礎系の分野に従事したいですか。(選択肢の番号を1つお答えください)

- | | |
|----------|--------|
| 01 はい | 02 いいえ |
| 03 わからない | |

問 14 問 11 の回答について伺います。あなたが将来もっとも従事したい診療科または基礎系の分野を選択した理由について当てはまるもの全てを選択してください（複数回答可）。

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 01 適性・才能があると感じた | 02 やりがいがある |
| 03 なんとなく相性が合う | 04 患者・患者家族からの信頼を得やすい |
| 05 平日に研究日がとれる | 06 当直回数が少ない |
| 07 勤務時間外に呼び出されることが少ない | 08 労働時間に比べて給与が高い |
| 09 労働時間が長いがその分給与が高い | 10 優れた指導者がいる |
| 11 学問的に興味がある | 12 医学博士号や専門医資格がとりやすい |
| 13 専門性を維持しやすい | 14 訴訟のリスクが低い |
| 15 先輩や教授に誘われた | 16 独立・開業しやすい |
| 17 親や親戚がその診療科で開業している | 18 親や親戚がその診療科・分野に従事（開業除く） |
| 19 出産・育児休暇後に復帰が容易である | 20 出産・育児休暇がとりやすい |
| 21 恋人・家族の希望 | |

問 15 臨床研修修了後の研修の場・勤務先をどのように決めますか。（選択肢の番号を1つお答えください）

- | | |
|---------------------|----------------|
| 01 情報を集めて自分で探す | 02 大学から紹介してもらう |
| 03 大学以外の施設から紹介してもらう | 04 その他 |

問 16 臨床研修修了後の研修の場・勤務先として希望する主たる勤務地（都道府県）はどこですか。

（別紙：都道府県の一覧をご参照の上、回答用紙に該当する都道府県番号をご記入下さい）

問 17 臨床研修修了後の研修の場・勤務先として希望する主たる病院等の種別はどれですか（選択肢の番号を1つお答え下さい）。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 01 卒業した大学の大学病院 | 02 卒業した大学以外の大学病院 |
| 03 大学病院以外の病院（臨床研修病院を含む） | 04 診療所等を開設 |
| 05 臨床医以外の進路（基礎医学、行政機関等） | |

問 18 臨床研修修了後の研修の場・勤務先として、勤務を希望する病院を選んだ理由について当てはまるもの全てを選択しその番号をお答え下さい（複数回答可）。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 01 臨床研修修了後の研修プログラムが優れている | 02 優れた指導者がいる |
| 03 病院の施設・設備が充実 | 04 臨床研修を受けた病院である |
| 05 国公立の病院である | 06 出身大学である |
| 07 平日に研究日が取れる | 08 当直回数が少ない |
| 09 当直明けに休みが取れる | 10 勤務時間外に呼び出されることが少ない |
| 11 労働時間に比べて給与が高い | 12 労働時間が長いがその分給与が高い |
| 13 超過勤務手当がきちんと支払われる | 14 福利厚生が充実している |
| 15 臨床研究が優れている | 16 専門医取得につながる |
| 17 医学博士号が取れる | 18 へき地医療への情熱 |
| 19 出産・育児休暇がとりやすい | 20 出産・育児休暇後に復帰が容易である |
| 21 出身地である | 22 実家に近い |
| 23 大都市圏である | 24 配偶者の居住地・勤務地である |
| 25 子供の教育を考えた | 26 恋人・家族の希望 |
| 27 先輩医師からの紹介 | 28 大学からの派遣 |

問 19 あなたは子どもが生まれて乳幼児期の間、育児休暇を取ることにについてどのようにお考えですか。
(選択肢の番号を1つお答えください)

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 01 仕事に復帰できる等の条件が合えば取りたい | 02 取りたい (01 以外) |
| 03 取らなくてもよい | 04 わからない |

問 20 あなたの子どもが乳幼児期の間、子育てをしながら勤務を続ける上で、勤務先にもっとも設置してほしいものはどれですか。(選択肢の番号を1つお答えください)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 01 短時間勤務制度 | 02 フレックスタイム制度 |
| 03 当直や時間外勤務の免除 | 04 勤務先に託児施設がある |
| 05 子どもの急病等の際に休暇が取りやすい | |

問 21 あなたは医師不足地域の医療に従事することについてどのようにお考えですか。
(選択肢の番号を1つお答えください)

- | | |
|---|------------------|
| 01 条件が合えば従事したい | 02 条件にかかわらず希望しない |
| 03 現在医師不足地域の医療に従事している (あるいは、現在医師不足地域に従事することを希望している) | |

問 22 問 21 において「01 条件が合えば従事したい」と回答された方に伺います。
仮に、あなたが医師不足地域の医療に従事するとしたら、主にどのような条件が必要ですか。あてはまるもの全てを選択しその番号をお答え下さい (複数回答可)。

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 01 臨床研修中である | 02 臨床研修修了後の研修中である |
| 03 専門医取得後である | 04 定年退職後である |
| 05 一定の期間に限定されている | 06 地域医療に従事した後に留学できる |
| 07 先端医療を修得する機会がある | 08 サバティカル (一定期間勤務後の長期的な休暇) がある |
| 09 地域の中核病院である | 10 入院のない小規模の診療所である |
| 11 病院の施設・設備が整っている | 12 他病院とのネットワーク・連携がある |
| 13 自分と交代できる医師がいる | 14 事前に地域医療に従事する研修期間がある |
| 15 給与がよい | 16 子どもの教育環境が整備されている |
| 17 配偶者が就業できる | 18 居住環境が整備されている |
| 19 配偶者の同意がある | 20 単身赴任の生活費や親族のもとへの交通費の補助がある |
| 21 現在の生活圏から近い | 22 介護等のために、親族のもとへ短時間で移動できる |
| 23 出身地である | 24 実家に近い |
| 25 奨学金を受けられる | 26 臨床能力を高めるための充実したプログラムがある |

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

医学部の一覧

<国立大学法人等>		2 2	三重大学医学部	<公立大学・公立大学法人>		7 3	東邦大学医学部
0 1	北海道大学医学部	2 3	滋賀医科大学	5 1	札幌医科大学	7 4	日本大学医学部
0 2	旭川医科大学	2 4	京都大学医学部	5 2	福島県立医科大学医学部	7 5	日本医科大学
0 3	弘前大学医学部	2 5	大阪大学医学部	5 3	横浜市立大学医学部	7 6	北里大学医学部
0 4	東北大学医学部	2 6	神戸大学医学部	5 4	名古屋市立大学医学部	7 7	東海大学医学部
0 5	秋田大学医学部	2 7	鳥取大学医学部	5 5	京都府立医科大学	7 8	聖マリアンナ医科大学
0 6	山形大学医学部	2 8	島根大学医学部 (島根医科大学)	5 6	大阪市立大学医学部	7 9	金沢医科大学
0 7	筑波大学医学群	2 9	岡山大学医学部	5 7	奈良県立医科大学	8 0	愛知医科大学
0 8	群馬大学医学部	3 0	広島大学医学部	5 8	和歌山県立医科大学	8 1	藤田保健衛生大学医学部 (藤田学園保健衛生大学、 名古屋保健衛生大学)
0 9	防衛医科大学校	3 1	山口大学医学部	<私立大学>		8 2	大阪医科大学
1 0	千葉大学医学部	3 2	徳島大学医学部	6 1	岩手医科大学	8 3	関西医科大学
1 1	東京大学医学部	3 3	香川大学医学部	6 2	自治医科大学	8 4	近畿大学医学部
1 2	東京医科歯科大学医学部	3 4	愛媛大学医学部	6 3	獨協医科大学	8 5	兵庫医科大学
1 3	新潟大学医学部	3 5	高知大学医学部	6 4	埼玉医科大学	8 6	川崎医科大学
1 4	富山大学医学部 (富山医科薬科大学)	3 6	九州大学医学部	6 5	杏林大学医学部	8 7	久留米大学医学部
1 5	金沢大学医学部	3 7	佐賀大学医学部	6 6	慶應義塾大学医学部	8 8	福岡大学医学部
1 6	福井大学医学部 (福井医科大学)	3 8	長崎大学医学部	6 7	順天堂大学医学部	8 9	産業医科大学
1 7	山梨大学医学部 (山梨医科大学)	3 9	熊本大学医学部	6 8	昭和大学医学部	<その他>	
1 8	信州大学医学部	4 0	大分大学医学部	6 9	帝京大学医学部	9 8	認定及び予備試験
1 9	岐阜大学医学部	4 1	宮崎大学医学部 (宮崎医科大学)	7 0	東京医科大学		
2 0	浜松医科大学	4 2	鹿児島大学医学部	7 1	東京慈恵会医科大学		
2 1	名古屋大学医学部	4 3	琉球大学医学部	7 2	東京女子医科大学		

都道府県の一覧

01	北海道	13	東京都	25	滋賀県	37	香川県
02	青森県	14	神奈川県	26	京都府	38	愛媛県
03	岩手県	15	新潟県	27	大阪府	39	高知県
04	宮城県	16	富山県	28	兵庫県	40	福岡県
05	秋田県	17	石川県	29	奈良県	41	佐賀県
06	山形県	18	福井県	30	和歌山県	42	長崎県
07	福島県	19	山梨県	31	鳥取県	43	熊本県
08	茨城県	20	長野県	32	島根県	44	大分県
09	栃木県	21	岐阜県	33	岡山県	45	宮崎県
10	群馬県	22	静岡県	34	広島県	46	鹿児島県
11	埼玉県	23	愛知県	35	山口県	47	沖縄県
12	千葉県	24	三重県	36	徳島県	48	海外

診療科または基礎系の分野の一覧

01	内科	11	リウマチ科	21	消化器外科	31	産婦人科
02	呼吸器内科	12	感染症内科	22	泌尿器科	32	産科
03	循環器内科	13	小児科	23	肛門外科	33	婦人科
04	消化器内科(胃腸内科)	14	精神科	24	脳神経外科	34	リハビリテーション科
05	腎臓内科	15	心療内科	25	整形外科	35	放射線科
06	神経内科	16	外科	26	形成外科	36	麻酔科
07	糖尿病内科(代謝内科)	17	呼吸器外科	27	美容外科	37	病理診断科
08	血液内科	18	心臓血管科	28	眼科	38	臨床検査科
09	皮膚科	19	乳腺外科	29	耳鼻いんこう科	39	救急科
10	アレルギー科	20	気管食道外科	30	小児外科	40	総合診療(科)

41	解剖学	44	薬理学	47	微生物学	50	行政機関
42	生理学	45	病理学	48	寄生虫学	60	地域保健・医療
43	生化学	46	法医学	49	衛生学・公衆衛生学 (国際保健含む)	99	未定

平成23年度の臨床研修における対応等について

I 23年度の臨床研修への対応について

1 当面の取扱い（激変緩和措置）への対応について

(1) 基幹型臨床研修病院の指定について

- 激変緩和措置については、基幹型臨床研修病院が新しい基準を満たすための猶予期間として24年度から研修を始める研修医の募集まで継続した後、廃止する。
- ただし、過去3年間に研修医の受入実績がない基幹型臨床研修病院については、激変緩和措置を適用しない。

(参考：当面の取扱い)

新たな指定基準を満たさない基幹型臨床研修病院は、一定の条件の下で22年度末まで指定を継続する。

(2) 小児科・産科プログラムの作成について

- 必置となっている当該プログラムの定員4名分を、病院の定員に別途加算する取扱いとする。
- この取扱いに伴い、激変緩和措置は不要となるため廃止する。

(参考：当面の取扱い)

小児科又は産科の研修プログラムのいずれか（定員2名以上）を設けることで差し支えないとする。（定員20名以上の研修病院）

(3) 病院の募集定員について

- 23年度の研修については激変緩和措置を継続し、その後の取扱いは、研修の実施状況、地域医療への影響等を評価して定める。
- ただし、激変緩和措置については、次回の制度の見直しまでに廃止する。

(参考：当面の取扱い)

臨床研修病院の募集定員は21年度研修の内定者（マッチ者）の実績を勘案する。
(22年3月末までの取扱い)

(4) 都道府県別の募集定員の上限について

- 「(3) 病院の募集定員について」と同様の取扱いとする。

(参考：当面の取扱い)

都道府県の募集定員の上限の値は、各都道府県の研修医受入実績から10%以上削減しない。

2 臨床研修病院群の形成の促進について

- 地域における臨床研修病院群の形成を促進するため、病院の募集定員については、研修医の受入実績、医師派遣等を勘案した定員を基本とし、都道府県の定員の上限の範囲内で、都道府県において、研修医の受入実績や地域の実情等を勘案して調整ができるようにする。このような募集定員の調整を含め、地域において臨床研修の内容を検討する場の設置を促進する。
- このため、一定の割合までは無条件に増員できるという現行の取扱いは廃止する。

(参考：現行の取扱い)

原則として、各病院は、 $A \times B / C$ を超えない範囲で増員ができる。

* A (過去3年間の受入実績の最大値+医師派遣加算)

× B (都道府県の上限值) / C (希望定員の合計)

3 著しく高額な給与を支払っている場合の補助金の取扱いについて

- 研修医に決まって支払われる給与(当直手当等を除く)が、一定額(年額720万円)を超える場合は、病院に対する補助金を一定程度減額する。
- この取扱いは23年度の研修から適用する。

II 次回の制度見直しに向けた取組みについて

- これまでの臨床研修の成果を評価し、臨床研修病院の指定基準(新規入院患者数、救急医療の実施等)を含め、制度全般の見直しに向けた検討に着手する。
- 具体的には、研修医に対する評価、病院・プログラムに対する評価、地域医療に与える影響等について、どのように評価を行うかを含め、本部会において、平成22年度以降、継続的に検討を行い、必要な対応を行う。